※令和４年度以降入学生用

学校番号	320

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　漢文編・古典編」　（大修館書店）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧　（数研出版） 読解をたいせつにする体系古典文法九訂版　（数研出版） 読解をたいせつにする体系古典文法学習ノート三訂版　（数研出版） 読んで見て覚える重要古文単語３１５三訂版　（桐原書店） 漢文学習必携　三訂増補版　（京都書房） 漢文学習必携　三訂版　句法演習ノート　（京都書房） 読み解く古典２　（浜島書店） 新版 読み・解き・覚える 日本文学史必携（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で学んだ基礎的な文法や句法の知識を用いて、有名な古文・漢文の読解を行います。
・伝統的な言語・文化に対する関心を持ち、古典を学習する意義を考えましょう。
・有名な古文・漢文の作品に親しむことで、豊かな感性と心情を理解しましょう。
・予習、復習は必ず行いましょう。（予習の仕方は授業の中で説明します。）
・定期テストや小テスト、日々の課題の提出に向け、学習計画をしっかり立てて取り組むようにしましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、活用するとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文を読むための知識を活用し、展開や心情を的確にとらえる ［教材］ 説話『十訓抄』「大江山いくのの道」	a：古文を読むために必要な助動詞の知識を身に付け、活用することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c：進んで作品内容を解釈し、古典の内容を楽しもうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	歌枕について関心持ち、調べ学習の中で理解を深める ［教材］ 説話『十訓抄』「大江山いくのの道」、その他図書資料	a：和歌の修辞について理解している。 b[読]：和歌の修辞について読み解き、適切な方法で情報を収集し、効果的に伝わるような表現を検討できている。 c：地域の歌枕について関心を持ち、積極的に情報を集めようとしている。	ノート 定期考査	ワークシート	振り返りシート ワークシート
	古典常識の理解を深め、本文内容や展開を的確に捉える ［教材］ 物語『伊勢物語』「初冠」	a：古文を読むために必要な古典常識の知識を身に付けている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察することができる。 c：平安時代の文化に関心を持ち、積極的に理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	句法を活用して内容を読み解く ［教材］ 思想「侵官之害」	a：漢文を読むために必要な訓読のきまりや句法を身に付けている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	敬語表現の理解を深め、古文を味わう ［教材］ 物語『竹取物語』「かぐや姫の昇天」	a：古文を読むために必要な敬語の知識を身に付けている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c：古文の敬語表現や身分についての知識を粘り強く身に付けようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	敬語表現の知識を活用し、古文を味わう ［教材］ 随筆『枕草子』「宮に初めて参りたるころ」	a：古文を読むために必要な知識を深め、活用することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c：敬語表現や身分についての知識をもとに、古文を進んで味わおうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	句法を活用して内容を読み解く ［教材］ 文章「桃花源記」	a：訓読のきまりや否定表現を身に付けている。 b[読]：古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げている。 り深めたりすること。 c：漢文に親しみ、漢文特有の表現を粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	敬語表現を振り返り、活用して物語を読み解く ［教材］ 物語『源氏物語』「光源氏の誕生」	a：敬語表現を活用し、文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価することができる。 c：物語の内容・構成展開を的確にとらえ、物語を味わおうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	作品の背景に関心を持ち、的確に読み解く ［教材］ 物語『源氏物語』「葵の上と物の怪」	a：文語のきまりを身に付け、文章の内容や登場人物の関係を的確に読み取ることができる。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c：作品が成立した時代の背景に関心を持ち、粘り強く読み解こうとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	読み比べの中で解釈を深める ［教材］ 小説「人虎伝」	a：漢文を読むために必要な句法の知識を身に付けている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察することができる。 c：「山月記」（文学国語）での内容と比較しながら、作品の価値について積極的に考察しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	知識を活用して歴史物語を味わう ［教材］ 物語『大鏡』「三船の才」	a：古文を読むために必要な知識を身に付け、活用することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c：歴史物語について関心を持ち、成立した時代の背景をとらえようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート
	登場人物の特徴や歴史的な事実をふまえて漢文を味わう ［教材］ 史伝『史記』「鴻門の会」	a：漢文を読むために必要な知識を身に付け、活用することができる。 b[読]：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができる。 c：登場人物の特徴や歴史的な事実をふまえて、漢文特有の表現を味わい、粘り強く理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	振り返りシート ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・読むこと　　…　（　１０５　）時間